

第55期 中間事業報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで



[我が社の基本理念]

われわれは、常に一流を指向し、内に礼節、勤勉、誠実を心がけ、積極果敢に行動します。

- 一、常に需要の動向を的確にとらえ、より良い製品、サービスを提供します。
- 一、顧客に奉仕し、明るい職場環境をつくり、従業員の生活向上を図ります。
- 一、限らない情熱と、たゆまぬ努力を重ね、企業の発展を期し社会のために尽します。



加賀工場

ISO 9001 / 14001



JQA-3152



JQA-EM1362

(本社・工場)

品質方針

- ・ユーザーニーズに的確に対応した品質の、製品、サービスを提供し、お客様の永続的な満足と信頼を得る。
- ・品質マネジメントシステムの継続的改善を図る。

環境理念

小松ウオールは、かけがえのない地球環境を守るため「企業活動と環境保全の調和」を経営の重要課題のひとつとして捉え、地球環境保全の活動を通して社会に貢献します。



代表取締役社長

加納 裕

1 会社の経営の基本方針

当社は、間仕切の専門メーカーとして、ビルの高層化・建物の工期短縮という建設業界の要請に即して、受注から設計、製造、販売、施工、サービスまでの「自社一貫システム」をもって、様々な新製品を社会に送り出し高い評価を得てまいりました。今後においても当社の専門分野である間仕切関連製品を中心に、新製品の開発、サービスの向上を通じて、着実な業容の拡大と安定した収益を継続して上げることにより、取引先・従業員・株主との共存共栄を図って社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

2 会社の利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様へ利益還元を行うことが最も重要であると考えており、収益状況に対応した上で、株主還元の実現を図り、安定配当を継続すること、また、その一方で、当社の持続的な成長のための成長投資に備えて、財務体質の健全性を維持することを基本方針としております。これらは中長期的な企業価値の向上、安定配当を通じて、株主の皆様へ利益還元できるものと考えております。

3 目標とする経営指標

当社が目標としている経営指標は、売上高経常利益率10%以上及び総資産経常利益率10%以上であります。これらは事業効率向上と株主価値の最大化を図るための資本効率の向上を目指したものであり、継続的に達成できる体質を目指しております。当事業年度においても、徹底した自動化、工数低減、効率の高い設備投資等により一人当たりの生産性を高めるとともに、創業時より採用している小分割独立採算制度により、従業員一人ひとりが常に利益を意識した活動をしてまいりました。

今後も目標達成に向けて諸施策を実施し、業績及び株主価値の向上を図ってまいります。

4 中長期的な会社の経営戦略

今後の間仕切業界は、頻発する地震、大雨等の自然災害や、コロナ禍における新しい生活様式への対応等から建物・建築物への関心が高まり、間仕切製品に対する顧客ニーズも多様化、高度化することが考えられます。

このような状況下において、新設した東京ショールームや主要な支店・営業所のショールームを活用した積極的な製品PRを行い、当社事業の主力製品である可動間仕切と当社の強みである大型移動壁の受注、販売に注力するとともに、間仕切関連製品であるドア製品等の固定間仕切、トイレブースにおいても顧客ニーズに対応した製品を供給し、拡販してまいります。なお、当社の経営の基本方針である着実な業容拡大と安定した収益確保のために、以下のように計画を策定し実施してまいります。

- ①比較的納期の長い建設会社様から直接受注する直販と、比較的納期の短い代理店様経由で販売するルート販売のバランスを取りながら安定した売上を目指します。
- ②ここ数年來の従業員の採用により世代交代が進行しておりますが、営業地域間の販売製品のバラつき、営業成績の格差等が発生しており、この解消を図るため、本社関連部門主催の各種研修会を開催し、製品知識、技術的知識、施工技術等の教育に注力してまいります。また、営業拠点につきましても、顧客サービス向上のため新事務所への移転を計画しています。
- ③社内情報システムを再構築するとともに、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、老朽生産設備の計画的な更新を行って、生産体制の効率化、品質及び生産性の向上を図ります。

5 会社の対処すべき課題

当社では、収益重視の経営を基本とし、今後も収益確保に努め、業績拡大に取り組んでまいります。また、管理体制面では、内部統制システムを一層強化するとともに、経営の公正性、透明性及び効率性を高め、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に努めてまいります。

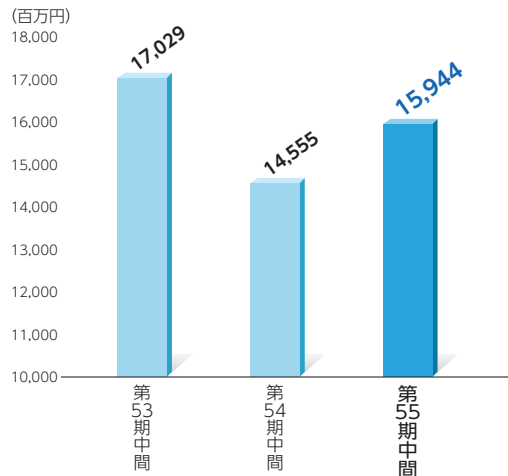
1.経営成績

1 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として不透明な状況が続いておりますが、企業の生産活動や設備投資には持ち直しの動きがみられ、今後につきましては、ワクチン接種の普及に伴い経済活動の正常化が進み、景気が回復していくことが期待されます。

このような状況にあつて当社は、生産部門においては、前期より進めている生産設備の更新を計画的に実施しており、品質及び生産性の一層の向上を図ってまいりました。営業部門においては、新製品群のPR活動を充実させ、3ヶ月以内の短期間で完了する案件への受注活動の強化を図り、見積及び受注獲得の拡大に向けて取り組んでまいりました。また、設計指定の獲得に向けて、本社技術者による営業支援にも引き続き注力しております。

■ 売上高



営業の概況

当中間期の経営成績につきましては、これらの活動の結果、受注高が好調に推移し前年同期と比較して14.5%の増加となりました。5月に新設した東京ショールームを積極的に活用した効果もあり、首都圏における営業拠点の受注高については、過去最高を記録した2期前に近い水準にまで回復してきております。また、売上高としましては、昨年、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて低調となっていたオフィスや学校関係の需要が回復し、官公庁向け、民間向けともにオフィス、学校・体育施設、福祉・厚生施設が堅調に推移いたしました。品目別では、可動間仕切、固定間仕切、トイレブース等が堅調に推移しております。

売上高全体としては、159億44百万円となり、前年同期と比較して9.5%の増加となりました。受注残高におきましては、前年同期比1.3%の減少となっておりますが、引き続き高い水準を維持しております。

利益面につきましては、業務の効率化を図るなど生産性の向上に努めたものの、原材料費の上昇による影響を受け、売上総利益率は32.8% (前年同期比1.1ポイント悪

化)となりましたが、増収効果に加え、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は5億22百万円(前年同期比15.4%増)、経常利益は5億63百万円(前年同期比11.5%増)、中間純利益は3億41百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

2 配当金の状況

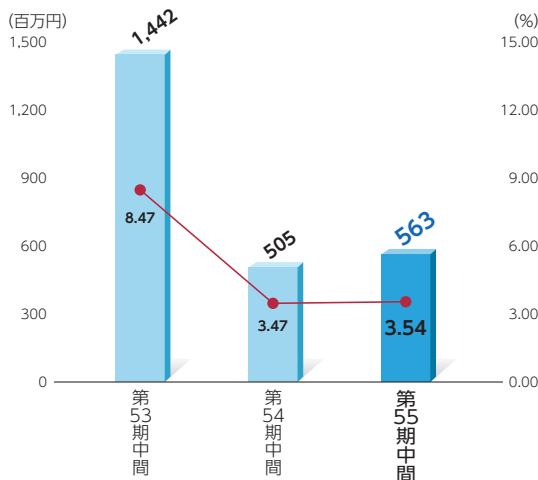
当中間期の配当につきましては、10月21日開催の取締役会におきまして、1株当たり40円と決めさせていただきました。

3 通期の見通し

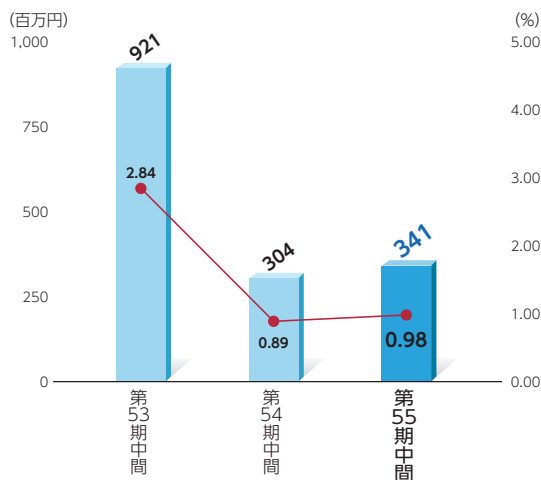
今後の経済見通しにつきましては、ワクチン接種の普及に伴うコロナ禍の沈静化への期待を背景に、経済活動の正常化が進み、景気が回復していくことが期待されます。

当社は、顧客ニーズに対応した新製品群や特殊ドア製品と間仕切の組合せによる提案活動をより一層推進し、

■ 経常利益
● 売上高経常利益率



■ 中間純利益
● 自己資本利益率



「設計指定活動」による受注活動を推し進め、「自社一貫システム」を活かして、より多くの製品を迅速に提供してまいります。また、短期、長期物件のバランスを考慮した受注戦略を推進しつつ、首都圏の再開発事業や全国各地の医療・教育施設に対し、多様な製品を納入し成果を上げるために、東京ショールームをはじめとした全国のショールームや様々な販促ツールを活用し、更なる経営の効率化を図り、業績の拡大に努めてまいります。

これらの状況と受注残高の消化等を考慮し、通期の業績予想としまして、売上高350億円、営業利益26億円、経常利益26億50百万円、当期純利益18億円を見込んでおります。

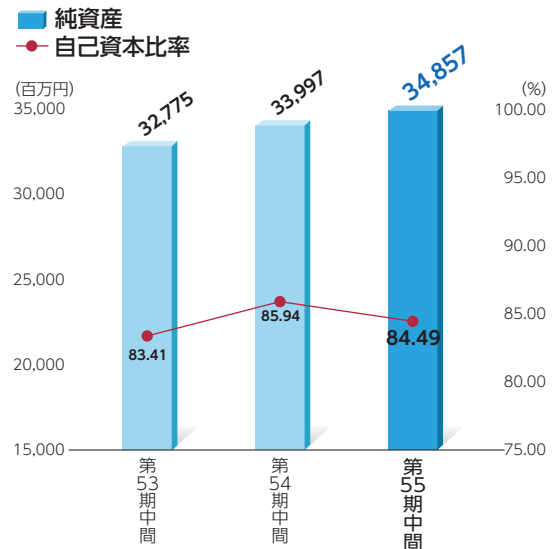
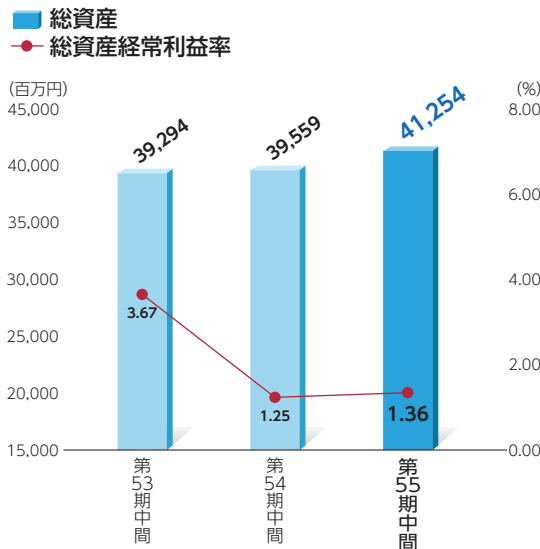
2.財政状態

1 資産、負債、純資産の状況

当中間期の末日における財政状態は、総資産は412億54百万円となり、前事業年度末と比較して3億3百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は264億98百万円となり、前事業年度末と比較して1億54百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金18億64百万円等の増加と、受取手形、売掛金及び契約資産14億40百万円、電子記録債権6億97百万円等の減少によるものであります。固定資産は147億55百万円となり、前事業年度末と比較して1億49百万円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる保険積立金62百万円等の減少等によるものであります。

負債の部では、流動負債は44億26百万円となり、前事業年度末と比較して2億95百万円の減少となりました。



営業の概況

これは主に、買掛金1億23百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金1億64百万円等の減少等によるものであります。固定負債は19億70百万円となり、前事業年度末と比較して71百万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は348億57百万円となり、前事業年度末と比較して79百万円の減少となりました。

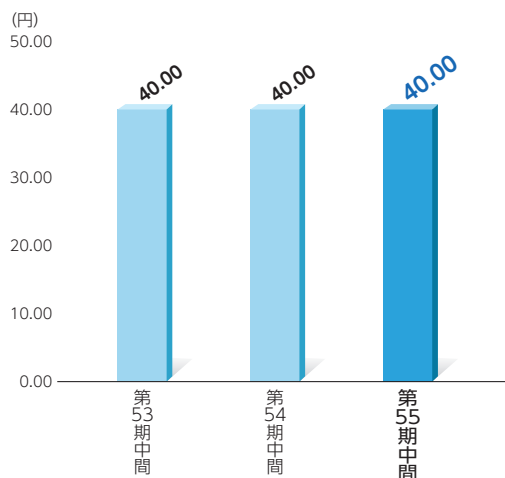
以上の結果、自己資本比率は84.5%となりました。

2 キャッシュ・フローの状況

当中間期におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保の充実を図りつつ、運転資金、設備投資、株主還元等へ資金を充当しております。

その結果、当中間期の末日における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、118億97百万円(前年同中間期末は116億86百万円)となりました。なお、当中間期におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

1株当たり中間配当金



(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、26億96百万円(前年同中間期は31億51百万円の増加)となりました。これは主に、税引前中間純利益5億63百万円の計上、売上債権の減少額21億37百万円、減価償却費5億19百万円等による増加と、法人税等の支払額2億54百万円、棚卸資産の減少額1億31百万円、仕入債務の減少額1億23百万円等による減少によるものであります。

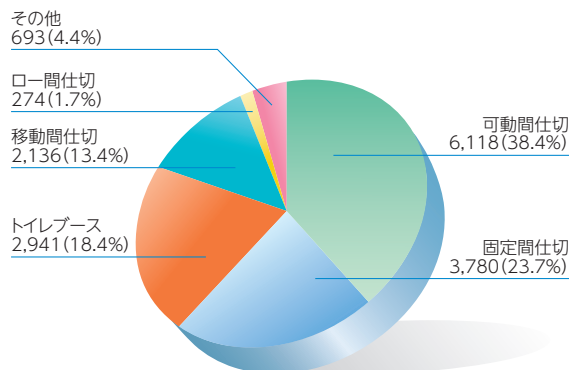
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、10億88百万円(前年同中間期は0百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入及び払戻による純支出6億円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出5億64百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、4億26百万円(前年同中間期は4億25百万円の減少)となりました。これは配当金の支払によるものであります。

品目別売上高構成比 (単位：百万円)



財務諸表

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第53期中間 (2019年9月30日現在)	第54期中間 (2020年9月30日現在)	第55期中間 (2021年9月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	24,920	24,919	26,498
現金及び預金	12,974	15,086	15,980
受取手形及び売掛金	9,126	7,270	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	—	7,746
電子記録債権	1,762	1,593	1,796
棚卸資産	911	781	789
その他	145	186	185
固定資産	14,374	14,640	14,755
有形固定資産	11,704	11,904	12,038
建物及び構築物	10,082	10,544	10,994
機械装置及び運搬具	6,748	7,142	7,284
土地	4,663	4,646	4,646
その他	1,140	1,272	1,258
減価償却累計額	△ 10,931	△ 11,702	△ 12,145
無形固定資産	458	484	474
投資その他の資産	2,211	2,251	2,242
その他	2,219	2,259	2,250
貸倒引当金	△ 8	△ 7	△ 7
資産合計	39,294	39,559	41,254

科 目	第53期中間 (2019年9月30日現在)	第54期中間 (2020年9月30日現在)	第55期中間 (2021年9月30日現在)
(負債の部)			
流動負債	4,875	3,750	4,426
買掛金	1,684	1,379	1,698
未払法人税等	573	195	278
賞与引当金	1,145	965	1,084
その他	1,471	1,210	1,365
固定負債	1,644	1,811	1,970
退職給付引当金	1,331	1,474	1,613
役員退職慰労引当金	86	86	86
役員株式給付引当金	136	140	143
その他	89	109	126
負債合計	6,519	5,561	6,396
(純資産の部)			
株主資本	32,733	33,937	34,823
資本金	3,099	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035	3,035
利益剰余金	29,272	30,430	31,283
自己株式	△ 2,674	△ 2,628	△ 2,595
評価・換算差額等	42	60	33
その他有価証券評価差額金	42	60	33
純資産合計	32,775	33,997	34,857
負債・純資産合計	39,294	39,559	41,254

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第53期中間 (自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日)	第54期中間 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)	第55期中間 (自 2021年4月 1 日 至 2021年9月30日)
売 上 高	17,029	14,555	15,944
売 上 原 価	11,041	9,620	10,718
売 上 総 利 益	5,987	4,935	5,226
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,559	4,482	4,703
営 業 利 益	1,427	453	522
営 業 外 収 益	24	65	40
受 取 利 息	0	0	0
受 取 配 当 金	6	5	6
受 取 保 険 金	-	39	12
受 取 家 賃	11	11	13
そ の 他	6	8	7
営 業 外 費 用	10	12	-
売 上 割 引	10	12	-
経 常 利 益	1,442	505	563
特 別 利 益	-	-	0
固 定 資 産 売 却 益	-	-	0
特 別 損 失	-	22	1
固 定 資 産 除 売 却 損	-	10	1
減 損 損 失	-	11	-
税 引 前 中 間 純 利 益	1,442	483	563
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	507	137	213
法 人 税 等 調 整 額	13	41	7
法 人 税 等 合 計	520	179	221
中 間 純 利 益	921	304	341

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第53期中間 (自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日)	第54期中間 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)	第55期中間 (自 2021年4月 1 日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間純利益	1,442	483	563
減価償却費	481	484	519
減損損失	—	11	—
貸倒引当金の増減額(△:減少)	△ 2	—	—
受取利息及び受取配当金	△ 6	△ 6	△ 7
売上債権の増減額(△:増加)	1,859	4,189	2,137
棚卸資産の増減額(△:増加)	△ 202	△ 40	△ 131
仕入債務の増減額(△:減少)	△ 328	△ 582	△ 123
退職給付引当金の増減額(△:減少)	65	75	62
役員株式給付引当金の増減額(△:減少)	14	3	△ 0
その他(純額)	△ 189	△ 847	△ 76
小 計	3,133	3,770	2,944
利息及び配当金の受取額	6	6	7
法人税等の支払額	△ 758	△ 625	△ 254
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,380	3,151	2,696
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 4,000	△ 3,400	△ 4,000
定期預金の払戻による収入	2,400	3,500	3,400
有形固定資産の取得による支出	△ 241	△ 349	△ 481
有形固定資産の売却による収入	—	—	1
無形固定資産の取得による支出	△ 68	△ 73	△ 82
保険積立金の払戻による収入	—	283	84
その他(純額)	△ 16	38	△ 10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,925	△ 0	△ 1,088
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	—
配当金の支払額	△ 377	△ 425	△ 426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 377	△ 425	△ 426
現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	77	2,724	1,181
現金及び現金同等物の期首残高	8,896	8,962	10,716
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,974	11,686	11,897

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

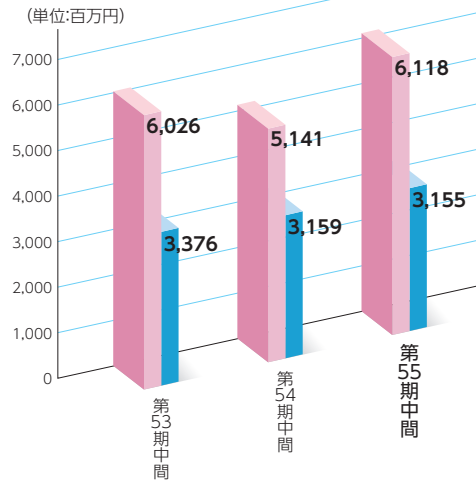
可動間仕切

レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、移設が可能な間仕切であります。



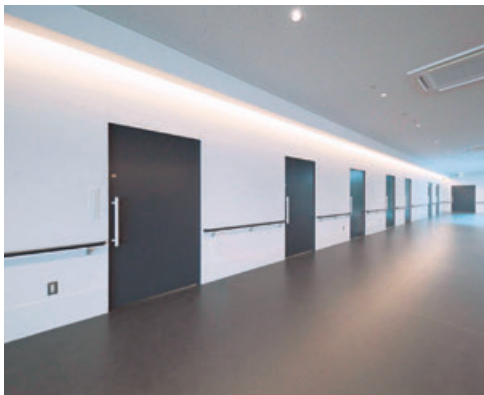
マイティ

売上高
中間期末受注残高



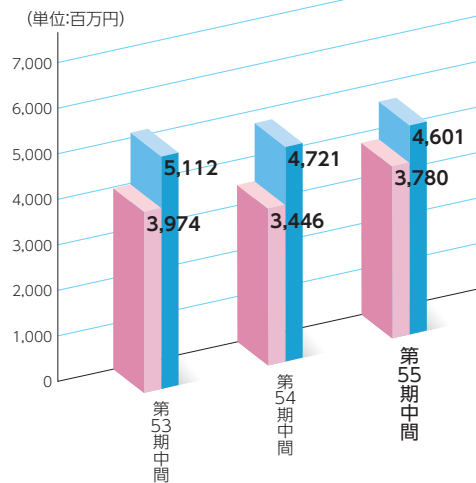
固定間仕切

建物付帯工事として溶接により躯体に取付ける間仕切であります。



カームドア

売上高
中間期末受注残高



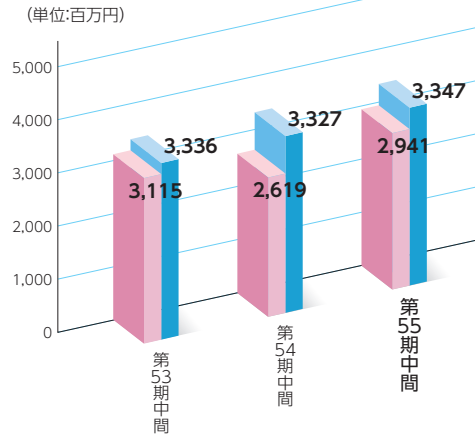
トイレブース

ユニット化したトイレ専用の間仕切であります。



サニティブース

売上高
中間期末受注残高



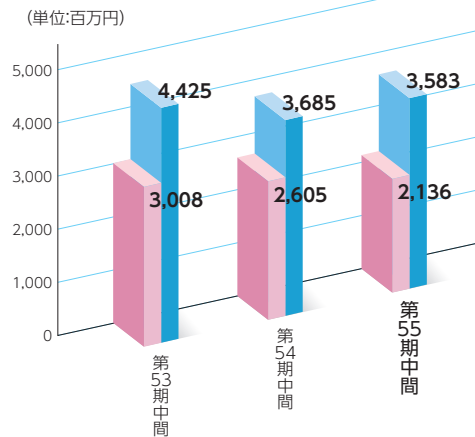
移動間仕切

ホテルの宴会場等の仕切りとして、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。



小松ランニング

売上高
中間期末受注残高



品目別情報

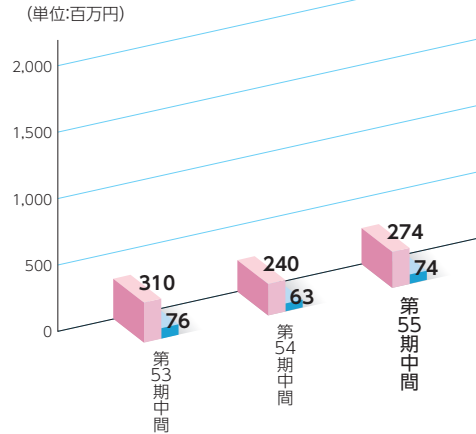
□一〇間仕切

主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。



アトリウム
Atrium

売上高
中間期末受注残高



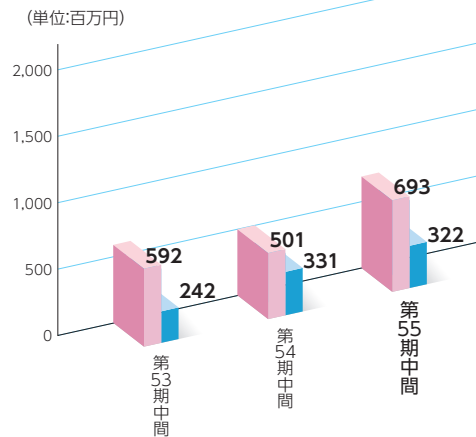
その他

主に、壁面化粧鋼板パネルの金属工事ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。



アクトウォール

売上高
中間期末受注残高



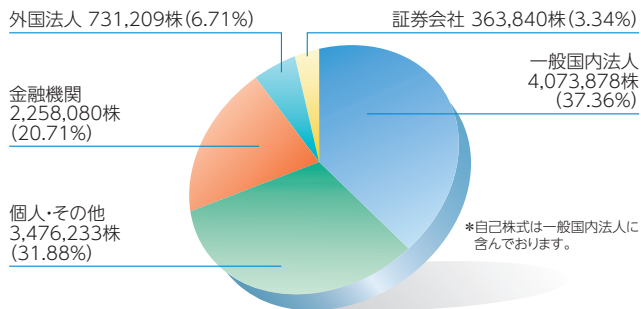
発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	10,903,240株
単元株式数	100株
株主数	6,663名
株主1人当たり平均持株数	1,636株

大株主

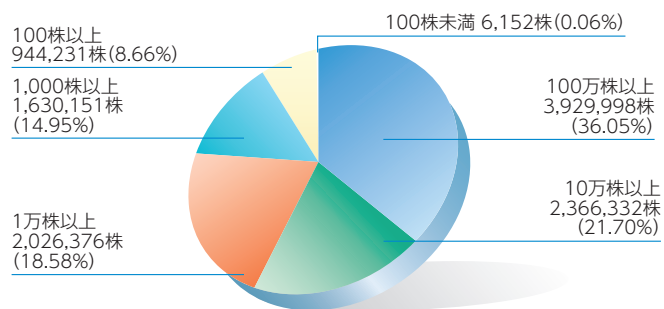
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社加納アネシス	1,731,849	18.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	760,900	8.04
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	643,100	6.79
株式会社北國銀行	442,280	4.67
小松ウオール工業従業員持株会	253,840	2.68
有限会社マルヨ	193,000	2.04
明治安田生命保険相互会社	154,600	1.63
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	153,900	1.63
株式会社北陸銀行	141,600	1.50
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	129,300	1.37

- (注) 1.持株比率は自己株式(1,437,249株)を控除して計算しております。
2.日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カストディ銀行の持株数は、信託業務に係るものであります。
3.株式会社日本カストディ銀行が保有する643,100株には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産186,700株が含まれております。

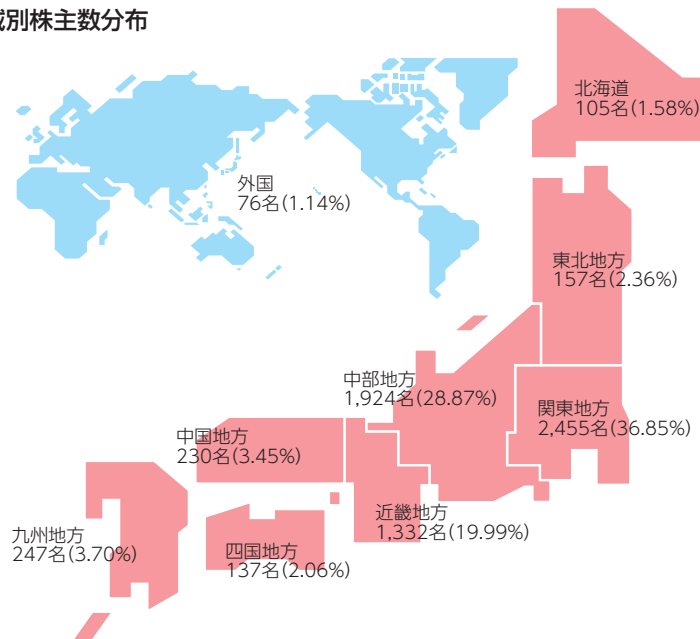
所有者別株式数分布



所有株数別株式数分布



地域別株主数分布



商号 小松ウオール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.)

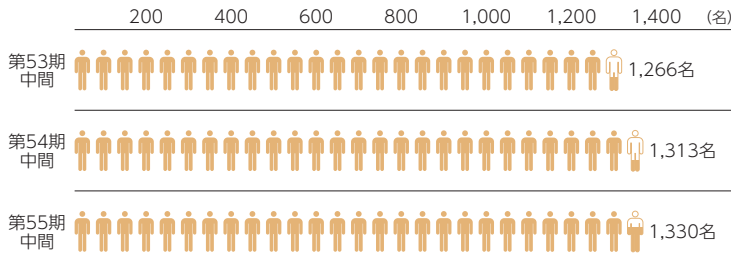
設立 1968年1月22日

資本金 3,099,945,552円

事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、
販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

従業員数 1,330名
(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー (計51名) は含まれておりません。

従業員の状況



取締役 代表取締役社長執行役員 加納 裕
取締役常務執行役員 山田 新一
取締役常務執行役員 加納 慎也
取締役執行役員 廣瀬 紀夫
取締役執行役員 綾 由紀夫
取締役 蜂谷 俊雄
取締役常勤監査等委員 金子 信一
取締役監査等委員 宮前 悟
取締役監査等委員 松木 浩一
取締役監査等委員 中田 浩一

(注) 取締役 蜂谷俊雄氏、宮前悟氏、松木浩一氏および中田浩一氏は社外取締役であります。



本社社屋

事業所

本社・工場

Table with 3 columns: 支社 (Main Office), 支店 (Branch Office), and 事務所 (Office). Lists locations like 札幌 (Sapporo) and 仙台 (Sendai) with addresses and phone numbers.

支店・営業所

Large table listing branch offices and sales offices across various regions including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Kansai, and Chugoku. Columns include location name, address, phone number, and contact details.

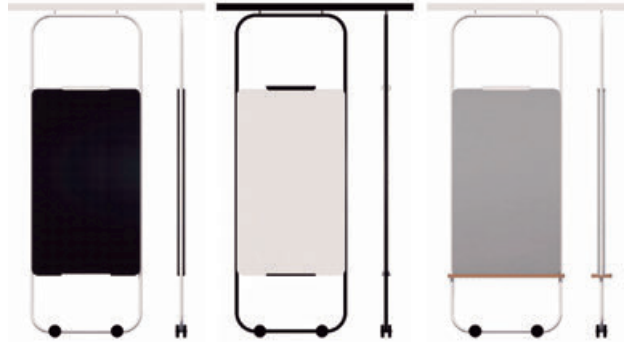
施工部門

Table listing construction divisions for various services, including '札幌サービスセンター' (Sapporo Service Center) and '仙台サービスセンター' (Sendai Service Center), with their respective addresses and phone numbers.

< 新製品紹介 >

●^コ^ロ^コ^ロ (2021年5月発売開始)

オフィスにおいて、コラボレーションスペースをフレキシブルに生み出せるパーティション「corocoro」を発売いたしました。パネルはマーカーボードとピンナップボードの2種類をご用意。パネルは簡単に付け替えることが可能で、働き方や目的に応じてプレゼンテーションや打合せ、個人作業のスペースを自由に作り出すことが可能です。



●^ア^ト^リ^ウ^ム (2021年7月発売開始)

「Atrium」は、オープンオフィスやフリーアドレスが増加する現代のオフィスにおいて、視線を遮り、集中した作業を可能にするワークブースです。床固定が不要、かつスピーディに施工でき、移設も容易です。また、天井はオープン仕様となり、既存の設備に左右されることなく自由なレイアウトが可能です。



株式についてのご案内(株主メモ)

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告 (<https://www.komatsuwall.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引のある証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内店 舗)でもお取扱いします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできま せんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店	
注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



KW 小松ウオール工業株式会社
石川県小松市工業団地1丁目72番地
www.komatsuwall.co.jp

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

200
古紙パルプ配合率
80%再生紙を使用

